

平成28年9月6日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

経済文教常任委員会委員長 大塚純一郎

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) J R只見線の早期全線復旧に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 生活環境の振興に関する調査
地域産業の振興に関する調査
- (2) 調査方法 現地調査、事務調査
- (3) 調査日 7月15日、7月21日、8月19日
- (4) 出席委員 大塚純一郎委員長、藤田力副委員長、目黒仁也委員
鈴木好行委員、目黒道人委員、酒井右一委員

3. 調査結果及び意見

委員会では、付託された陳情審査を含む現地調査を行った。

黒谷区長から提出された「集落水道の町管理」「天堂沢の改修」については、現地での地元関係者や水道組合の関係者などと協議し、集落の実態等を考慮した上で、早急な実現を目指し取り組むべきものと見ている。今後、町当局と地元関係者による協議状況や事業実施スケジュールなどを確認して進めていきたい。なお、集落水道については、昨年度布沢区・塩ノ岐区・坂田区から給水施設整備支援と受益者負担金軽減について陳情が出され、議会において本年3月に採択としたが、未だに集落との協議がなされていない。町当局には早急な対応を求めている。

また、「いわなの里」の運営状況を視察した。災害等により営業困難な状況に陥ったが、経営者本人は再開意欲を示し、自発的な復興を行っている。観光の目玉でもある当施設の復興は、町にとっても交流人口拡大のために必要不可欠である。経営者当人に全

て任せるのではなく、行政ができる支援策を十分実施した上で、観光振興推進に努めるべきものと判断した。

以上の点について、今後も委員会の中で継続して調査を進めていきたい。

以 上